

「令和3年度とくしま教育の日 1人1台端末を使った
『学びのアイデア』募集」受賞作品について

教 育 政 策 課

「令和3年度とくしま教育の日 1人1台端末を使った
『学びのアイデア』募集」受賞作品について

徳島県では、小中高一貫した新たな教育環境として、国のGIGAスクール構想の対象である小中学校に加え、高等学校段階にも1人1台端末を整備し、今年度から本格的な運用を開始しております。

そこで、11月1日の「とくしま教育の日」の関連事業として、実際に端末を使用している県内の児童生徒の皆さんから、1人1台端末を使った「学びのアイデア」を募集したところ、計1,305作品の応募があり、厳正な審査の結果、別添のとおり受賞作品を決定しました。

1 受賞作品

- (1) 最優秀作品 1点 「タブレットがつなぐ藍」
鳴門教育大学附属小学校 4年 大藤 悠暉さん
- (2) 優秀作品 小学生部門 3点
中学生部門 4点
高校生部門 3点
計 10点 作品は別添のとおり

2 募集期間 令和3年10月25日(月)から11月30日(火)まで

3 応募数 小学生部門(特別支援学校小学部含む) 241作品
中学生部門(特別支援学校中学部含む) 818作品
高校生部門(特別支援学校高等部含む) 246作品
計 1,305作品

4 表彰式 令和3年12月27日(月)オンライン形式で実施

5 その他 県下の小中高等学校、特別支援学校に周知
「とくしま教育の日ホームページ」や県教育委員会広報紙等で紹介

最優秀作品

学校名	学年	氏名	タイトル	1人1台端末を使った「学びのアイデア」
鳴門教育大学 附属小学校	4年生	大藤悠暉	タブレットが つなぐ藍	自分の学校と同じ単元をしている他の小学校などと意見を交わし合いたい。例えば、今は藍染めをしているので、藍の文化を深く調べている小学校(島根県、滋賀県など)と意見を交わし合うことで、さらに藍染めの歴史や製品にについて、新しい情報を映像などで得ることができる。

小学生部門(特別支援学校小学部含む)優秀作品

学校名	学年	氏名	タイトル	1人1台端末を使った「学びのアイデア」
徳島市 津田小学校	6年生	森岡 歩音	1人1台端末で地域の安全を守ろう	1人1台端末を使って交通事故を減らしたいです。地域の危険な交差点や狭い道路をドローンで撮影して、車や自転車の様子を観察します。そして、どこで何に気を付けるべきかを話し合います。分かったことを地図サイトにのせて全校生徒に見てもらうだけでなく、一般にも公開して地域の方にも気を付けてもらいます。また、低学年にはタブレットを持って実際に歩きながらARを活用して危険な場所を体験してもらいます。
三好市立 箸蔵小学校	6年生	藤本 真衣	中学生と交流したい！	箸蔵小学校は、池田支援学校との交流をしています。これまでは体育館でレクをするなど会って交流ができました。でもコロナで会うことができなくなった今年、1人1台の端末を使ってビデオ通話での交流を始めました。そこで、私は、支援学校の友達とできるのなら、中学校ともできると思いました。私達6年生は、もうすぐ池田中学校に進学します。池田中学校の先輩から中学校のことを聞くことができれば安心して入学できそうです。
徳島市 新町小学校	6年生	多田 美佐記	Power Pointを使って	Power Pointで、徳島県以外の都道府県を紹介します。日本に来たばかりのALTの先生に紹介して、この都道府県に行きたいと思ってもらえる作品をイングリッシュデーで、作りました。私は、大阪府について、紹介しました。6年生の教室に来てくれたALTの先生が、行ってみたいと言ってくれました。他にもいろいろ作ってみたいです。

中学生部門(特別支援学校中学部含む)優秀作品

学校名	学年	氏名	タイトル	1人1台端末を使った「学びのアイデア」
徳島県立 城ノ内 中等教育学校	3年生	山本 恵美	みんな教えて!	分からないところを先生に質問したりするけれど、そもそも疑問点に自分では気付いていない可能性も…、友達が持っている疑問から自分が理解していないところがある場合もある。だから掲示板のように各々が匿名でわからない点を書き、先生が一週間ごとに質問に回答してくれる! そうすればテスト前に復習することも出来る。先生だけでなく生徒も回答出来るようにすれば学力の向上にも繋がる。
徳島県立 城ノ内 中等教育学校	3年生	大和 天音	サステナブル恩返し。	普段、給食に野菜などを提供してくれている農家さんの野菜を販売するホームページを作る。おいしい野菜を作ってくれている感謝を、プログラミングの学習などを兼ねて返せるいい機会だと思う。地産地消の考えを意識させるきっかけにもなると思い、持続可能な社会を目指している現代においても良い学習になると考える。
徳島市 南部中学校	1年生	二反地 望虹	紹介動画を作ろう!	入学したばかりの1年生や来賓の方などに見てもらうための学校紹介動画を作ります。そうすることで、写真を撮ったりつなげたりする技術が身につくし、改めて自分の学校を知ることができます。生徒1人1人がそういうのを作れるようになったら、次は地域の紹介動画や自分が住んでいる都道府県の紹介動画など、みんなで案を出し合っって動画を作ります。文字や音楽をつけると、もっとタブレットの扱いに慣れることができると思います。
吉野川市立 鴨島第一中学校	2年生	江本 結	学校をよりきれいにするために	私は学校をよりきれいにするためにタブレットを使うことができると思います。まずは校舎内の地図をタブレットに読み込み、1人1人が掃除できていると思う場所にチェックしていきます。そしてみんなと共有して、掃除ができていない場所を確認します。そしてその場所をなるべく掃除できるように工夫します。こういった複雑な作業もタブレットなら効率よく進めることができ、みんなと意見を共有することできると思います。

高校生部門(特別支援学校高等部含む)優秀作品

学校名	学年	氏名	タイトル	1人1台端末を使った「学びのアイデア」
徳島市立 高等学校	3年生	青木 花歩	多文化共生社会 実現への一歩	徳島には技能実習生などの日本語が不自由な外国人の方が住んでいます。外国人の方は悩みや不安を抱えています。あらゆる事情で相談できていません。そこで相談できるWebサイトを作り、徳島の高校生の中で英語の力をつけたい人や多文化共生に興味のある人で、寄せられたことについてオンラインで解決策を提示するという活動を行います。授業だけではできない英語の実践力の向上に繋がります。
徳島県立 城東高等学校	1年生	防災クラブ (7名) 代表 戒井 光来	「Googleマップ『マイマップ』を用いた通学路の総合安全マップ」	私達はマイマップを用いた防災マップの作成を計画しています。登下校中の南海地震被災を想定し、マップを1人1台端末で共有して、避難場所をはじめ、フォームを用いて生徒や保護者から聞いた危険な場所等の情報も記入します。これを防災以外にも応用し、交通上危険な場所や不審者に狙われそうな路地などを生徒や職員・保護者で共有することで、総合的な安全マップが作成でき、より安全な登下校が可能になると考えます。
徳島県立 城北高等学校	1年生	井上 惺太	コロナ禍に負けない学びの機会を確保	各高校でSDGsなど様々な講演会が行われており、他校の講演会も聞きたいが、その学校の生徒のみ、その時1回限りとなってしまっている。そこで、講演を撮影してアーカイブ化しタブレットで見れるようにしてみよう。著作権の問題があるなら、その学習を同時にすれば良い。また、受け入れ人数が制限されるフィールドワークについても、その様子を撮影してコンテンツにするなどコロナ禍に負けない学びの機会を確保できる。